

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【公開番号】特開2003-148628(P2003-148628A)

【公開日】平成15年5月21日(2003.5.21)

【出願番号】特願2001-344271(P2001-344271)

【国際特許分類第7版】

F 1 6 J 15/32

C 0 8 L 27/16

C 0 8 L 27/18

C 0 9 K 3/10

F 1 6 C 29/06

F 1 6 C 33/78

F 1 6 H 25/24

//(C 0 8 L 27/16

C 0 8 L 83:04 )

(C 0 8 L 27/18

C 0 8 L 83:04 )

【F I】

F 1 6 J 15/32 3 1 1 Z

C 0 8 L 27/16

C 0 8 L 27/18 Z A B

C 0 9 K 3/10 M

C 0 9 K 3/10 R

C 0 9 K 3/10 Z

F 1 6 C 29/06

F 1 6 C 33/78 Z

F 1 6 H 25/24 L

C 0 8 L 27/16

C 0 8 L 83:04

C 0 8 L 27/18

C 0 8 L 83:04

【手続補正書】

【提出日】平成16年11月8日(2004.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

補強部材と、ゴム組成物とを接合してなるゴムシール装置において、前記ゴム組成物がテトラフルオロエチレン-プロピレン2元共重合体及びフッ化ビニリデン-テトラフルオロエチレン-プロピレン3元共重合体から選ばれるフッ素ゴム100重量部に対し、摩耗改良剤として反応性シリコーンオイルを2~20重量部含有することを特徴とするゴムシール装置。

【請求項2】

反応性シリコーンオイルが、アミノ変性、エポキシ変性、カルボキシル変性、カルビノ

ール変性、フェノール変性またはメタクリロ変性したポリシロキサンであることを特徴とする請求項1記載のゴムシール装置。

【請求項3】

反応性シリコーンオイルの官能基当量が300～10000g/molであることを特徴とする請求項1または2記載のゴムシール装置。

【請求項4】

請求項1～3の何れか1項に記載のゴムシール装置を備えることを特徴とするオイルシール。

【請求項5】

請求項1～3の何れか1項に記載のゴムシール装置を備えることを特徴とする転がり軸受。

【請求項6】

請求項1～3の何れか1項に記載のゴムシール装置を備えることを特徴とする直動装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明は、補強部材と、ゴム組成物とを接合してなるゴムシール装置において、前記ゴム組成物がテトラフルオロエチレン-プロピレン2元共重合体及びフッ化ビニリデン-テトラフルオロエチレン-プロピレン3元共重合体から選ばれるフッ素ゴム100重量部に対し、摩耗改良剤として反応性シリコーンオイルを2～20重量部含有することを特徴とするゴムシール装置、並びに前記ゴムシール装置を備えるオイルシール、転がり軸受及び直動装置を提供する。